

クリスマスツリーが欲しい ツリー作り

刈谷市立東刈谷幼稚園（愛知県刈谷市）

[5 歳児]

< 遊びのきっかけと保育者の願い >

クリスマス会をどのようにしたいか、どんな物を用意したらいいのか、クラスのみんなで考える場をつくと、「ツリーが欲しい」「部屋を飾りたい」「服を着て案内したい」など、いろいろな意見が出た。自分たちで会を進めたい、今まで一緒にペアで遊んできた4歳児を喜ばせてあげたいという思いをもち、楽しみにしているということが感じられた。

その中から作りたい物を選び、係りを決めた。ツリー係りを選んだA児・B児・C児・D児は4人で話し合い、「立体的で大きなツリーを作りたい」と意見がまとまった。保育者は、一つのことに向かって友達と考えを伝え合ったり受け入れたりして、「友達と一緒に考えたからできた」という満足感を味わって欲しいと願った。

< 事例 >

色文字は、保育者の援助

ツリーの土台を何で作るか話し合っていると、C児が「ダンボールを大きく三角に切って貼ったらどう？」と言う。A児は「うん、じゃあ4枚重ねて立つようにしたら？」と答える。ダンボールを持って来て組み合わせるが倒れてしまい、「どうする？」と困った様子。ダンボールを立つようにしたいという思いはあるが、方法がわからないのではないかと感じ、保育者は余分なダンボールを小さく三角に4枚切り、「どうやってくっ付けようか？」といろいろと動かして見せた。すると、A児が「貸して」と言って自分で組み合わせ、「ほら、こうやってやると3枚でツリーみたいに重なった！」と言う。B児、C児、D児も「ほんとだ、3枚だ」と驚く。保育者も「三角をくっ付けると3枚でいいだね！」と共感する。B児「大きさはどうする？」C児「みんなで大きいツリー作ろうよ。先生より大きくしたい」B児「うん、そうしよう」と嬉しそうに話し合う。大きいダンボールを選ぶとB児、C児は保育者の背の高さと比べながら「これでいい？」とA児やD児に聞く。A児は選んだダンボールに大きく三角を描くと、D児に「こっちから切るから押さえて」と声をかける。D児「わかった！」と端を押さえる。それを見てB児もC児に「じゃあ、私たちはこっちの反対を切ろう」と一緒に取り組む。切り終わるとA児「もうできちゃった！」と喜ぶ。保育者が「4人で力を合わせて切ったからすぐできたね」と認めると、D児「次も切らなきゃ」と張り切る。A児はさっき小さく作ったのを見て、「同じ形にしないとだめだね」と言う。保育者が「そうだね。同じ形にするとツリーの先がびったりするからきれいだね」と言うと、C児が思いついたように「今切ったダンボールを乗せようよ」と言い、切っていないダンボールの上に切った物を乗せてなぞった。そして同じ大きさのダンボールが3枚でき上がるとまっすぐに立て、A児、D児は椅子を持って来て上の方をガムテープで貼り、B児、C児は下の方を貼った。土台ができ上がると、「やっとできた！」「ああ、疲れた！」「先生、隣に立って」などと口々に言い、満足そうであった。その後、ツリーにつける飾りをみんなで作り始めた。



< 考 察 >

- ・ 幼児は『こういうふうに作りたい』という思いはあっても、実際にはダンボールをどうすればいいのか、どうやって作ったらいいか、わからないようであった。そのため、保育者が一緒に考えながら、目で見て具体的にわかるように模型の様な物を作って見せた。実際に組み合わせてみたことで、方法を見つけることができた。大きいダンボールで試すことはなかなか大変であるが、違う物で試してみることで方法が見つかり、また友達と共通のイメージがもて、同じ思いで遊びを進めることができた。
- ・ 大きい物を作るため大変な作業ではあるが、こうした体験をすることで友達に手伝ってもらったり、手伝ったりして、力を合わせる大切さや、力を合わせるとすごい物が作れるということを実感したと思う。
- ・ この時期になると、やってみる前に「こうするといいかもしれない」「こうするとうまくいかないかもしれない」と予測をしながら作るようになる。そういう時に、保育者は「こういうことなんだよね」と子どもの思いを受け止めることで、幼児が自分でいろいろと考えてやってみると物事がうまくいくということを実感できることがわかった。

みどころ

「大きなツリーを作りたい」という目的を明確にもったことで、必要な材料や手順などを自分たちなりに考えています。しかし、思い描いているようにはなかなかうまく実現できません。そういった子どものつまづきや戸惑いの場を保育者がちゃんと捉えて、直接具体的な作り方を示すのではなく、考え方の手順や方向性を示してあげることで「自分たちで思いついた」「考え出した」という自信や満足感を得ました。また、イメージが実現できた喜びは、次に新たな目的に向かう意欲や、失敗してもあきらめずにやりとげる力につながる体験です。